

平成23年度「廃棄物・海域水環境保全に係る調査研究費助成制度」審査委員会
審査結果報告

平成23年7月13日
大阪湾広域臨海環境整備センター
財団法人 廃棄物研究財団

大阪湾広域臨海環境整備センターが公益事業の一環として実施している大学・研究機関等における若手研究者の調査研究を対象とした助成制度の審査結果は以下の通りです。

なお本制度の事務局は、財団法人 廃棄物研究財団が務めました。

◆応募状況

平成23年5月2日から5月31日の募集期間において、19件の応募がありました。

◆審査委員会概要

開催日： 平成23年7月5日

委員： 廃棄物処理、海域水環境保全に関する学識経験者 4名

審査方法： 審査委員による採点評価を基にした審査

◆審査結果

審査委員会において厳正な審査が行われ、その結果9件が平成23年度の助成対象として採択されました。下表に、助成対象の調査研究を示します。

表 審査結果一覧

申請者氏名	所属名	課題名
石森 洋行	独立行政法人 国立環境研究所 特別研究員	浸出水中の有機化合物に対する海面処分場粘土ライナーの遮蔽性能評価
為田 一雄	NPO法人環境技術支援ネットワーク 主任研究員	キレート処理飛灰が浸出水管理におよぼす影響と対策に関する研究
高岡 昌輝	京都大学大学院工学研究科 都市環境工学専攻 教授	廃棄物焼却炉からの微小粒子状物質の排出実態把握とキャラクターゼーション（その3）
藤原 康博	大阪市立環境科学研究所 研究副主幹	改質浄水発生土を用いた最終処分場底泥からのリン溶出抑制
相子 伸之	大阪府環境農林水産総合研究所 環境研究部 都市環境グループ 研究員	管理型廃棄物最終処分場の浸出水調整池における自然発生的ANAMMOX反応を利用した窒素低減技術に関する研究
乾 徹	京都大学大学院地球環境学堂 准教授	浚渫土等の再資源化における低環境負荷型処理技術の適用性評価（その2）
中山 裕文	九州大学大学院工学研究院 環境都市部門 准教授	廃棄物埋立地表層付近の広域的情報取得のための衛星リモートセンシングの適用に関する研究
黄 仁姫	北海道大学大学院工学研究院 環境創生工学部門 廃棄物処分工学研究室 特任助教	亜臨界水熱処理による生物系水産廃棄物からの液肥抽出に関する研究（その2）
今井 剛	山口大学大学院理工学研究科 教授	下水及び余剰汚泥からのリン回収の最適化による海域環境保全に関する調査研究